

## 平成22年度 事業報告

- ・ 墨田さんさん会本部 【P. 1～3】
- ・ 墨田さんさんプラザ 【P. 4～10】
- ・ すみださんさんるーむ 【P. 11】
- ・ ワクワク工房デイサービス 【P. 12～14】
- ・ ほーむ大洋 【P. 15～16】
- ・ ほーむアンブレラ 【P. 17～18】
- ・ 亀沢七福福祉作業所 【P. 19～22】
- ・ 向島七福福祉作業所 【P. 23～25】

社会福祉法人 墨田さんさん会

## 平成22年 墨田さんさん会本部 事業報告

### 1 事業報告

平成22年度は、当法人にとって、3事業所が自立支援法の新体系に移行準備の年であり、自主生産事業等、各事業内容が大きく充実した年になりました。

以下、前年度の事業計画に沿って報告します。

#### (1) 本部機能の強化について

増大する事務量対応として、臨時職員1名採用しました。事務の集中化が緩和され、事務内容が改善されました。また、IT機器の活用により、職員・各事業所間のネットワークが構築され、情報の共有や共通理解が向上し、事務処理の効率化が図られつつあります。

#### (2) 事業展開に向けた調査・検討について

今年度は、墨田さんさんプラザ、亀沢七福福祉作業所、向島七福福祉作業所が旧体系から新体系への移行準備にあたる年でした。各事業所の移行に関する事務手続きについては、東京都や墨田区の助言・指導のもと、各事業所と協議しながら移行事務を進めました。

また、今年度9月に墨田区による「(仮称)墨田区障害者就労総合施設」の委託事業者募集に当法人も応募しましたが、結果は惜しくも指定に至りませんでした。しかし、今後の法人経営を考えると、貴重な経験になりました。今後も事業発展を見据えた検討・実践をして行く必要性を強く感じました。

#### (3) 広報活動について

各事業所の撮影を行い、事業内容の紹介等ホームページの開設が整いつつあります。法人全体のパンフレットとあわせて、来年度には公開できる準備を整えました。

#### (4) 人材育成について

社会福祉法人の職員として、利用者により質の高いサービスを提供していくためには、職員自身の能力向上が常に求められます。法人本部としては、実務研修を始め、東京都サービス管理責任者研修等積極的に参加を勧めて来ました。

また、今年度は当法人で初めて企画した「職員全体研修会」を実施しました。身近な問題である組織・就業規則、平成23年度から実施の новаによる事業移行等、法人運営や取り組みについて理解を深めることを目的とした内容にしました。出席者からは、来年度もこのように学習する機会が欲しいとの声がありました。

## (5) その他 危機管理について

今年度は、3月11日に東日本大震災が起きました。

迅速な緊急避難を行い、利用者の安全確保と帰宅対応を実践しました。

このような大災害時には、通常の通信手段と交通は利用できないことが分かりました。今後は的確な保護者との連絡手段や利用者の引渡し方法等を再考し、危機管理の強化を図るべきと感じました。

こうした中で、社会福祉法人として、ますます幅広い事業実践と利用者本位の支援体制の一層の充実、福祉サービスの質の向上を目指して努力してまいります。そして、墨田区をはじめとする行政機関や関係者との連携を強化しながら、知的障害者の多様なニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供に努めてまいります。

## 2 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。

### ① 理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5月27日	21年度事業・決算報告・監査報告 理事会評議員会の開催順について提案があり、理事会を先に開催する。
2	8月26日	定款の変更について（ほーむアンブレラ建物の新規取得） 新体系移行関係について説明
3	10月26日	理事及び監事の選任について 評議員の委嘱に対する同意について 墨田さんさんプラザまつり、リサイクル事業の報告
4	3月24日	23年度予算について 23年度事業計画について 定款の変更について（事業の廃止・資産区分の追加・事業の開始）

### ② 評議委員会

回	開催日	主な審議内容
1	5月27日	21年度事業・決算報告・監査報告 理事会評議員会の開催順について提案があり、今後、理事会を先に開催することになった説明をする。
2	8月26日	定款の変更について（ほーむアンブレラ建物の新規取得） 新体系移行関係について説明

3	10月26日	理事会の報告（理事、監事の選任） 評議員の委嘱について、2名新しく変更があった。 墨田さんさんプラザまつり、リサイクル事業の報告
4	3月24日	23年度予算について 23年度事業計画について 定款の変更について（事業の廃止・資産区分の追加・ 事業の開始）

### 3 監査会の開催

平成23年5月24日、2名の監事により、業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、すべて適正に執行されていることが確認されました。

## 平成22年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

### 1 利用者の状況

#### (1) 利用者数・年齢分布

年代	21年度末(22.3.31)			入所		退所		22年度末(23.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	2	1	3	1				3	0	3
20～29歳	19	9	28	1		1		19	10	29
30～39歳	5	5	10					6	4	10
40～49歳	6	3	9					6	2	8
50～59歳	1	0	1					0	1	1
60歳以上	2	1	3					3	1	4
計	35	19	54	2	0	1	0	37	18	55
平均年齢	32.6歳	30.3歳	31.6歳	2		1		31.7歳	32.4歳	31.9歳

#### (2) 障害区分 22.3.31現在

障害区分	男性	女性	計
A	12	5	17
B	18	11	29
C	7	2	9
計	37	18	55

### 2 開所日数

239日

### 3 支援の状況

#### (1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という。）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
4月～6月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	フェイスシート作成・変更
	④	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑤	アセスメントシート作成
	⑥	利用者毎の課題と目標を設定
	⑦	具体的な支援内容を検討
	⑧	支援計画書担当者案作成
	⑨	担当者(案)の内容審査
	⑩	支援計画案決定
	⑪	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑫	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑬	支援計画案修正
	⑭	支援計画決定

(2) クラブ活動

毎月第三火曜日の午後にクラブ活動を行っています。

クラブ名	参加者数	主 な 活 動 内 容
スポーツ	17	球技やランニング等、体を動かす。
映像	9	デジカメを使い屋外でテーマを決め、撮影する。
絵画	7	スケッチや紙粘土での創作活動。
合唱	9	ジャンルは問わず利用者の希望する曲を合唱する。
軽音楽	7	課題曲をギター、キーボード、タンバリン等で演奏する。

(3) 行 事

平成22年度は次の行事を行いました。

6月11日	社会見学	ひたち海浜公園見学	茨城県方面
10月17日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会へ参加	区体育館
10月23日	施設まつり	さんさんプラザまつりに従事者として参加	墨田さんさんプラザ
11月4日 ～5日	宿泊旅行	かんぼの宿石和宿泊、富士山5合目散策、ワイン作り	山梨県方面
2月20日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 劇「浦島太郎リターンズ」を演ずる	曳舟文化センター

#### (4) 健康管理

施設としての利用者の健康状態把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行っています。また20年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実施サイクル	内容
日常の健康チェック	毎日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
嘱託医による健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診査	6月17日 6月24日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

#### (5) 安全管理

業務時間中はもとより、通所途中の事故防止等については、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行っています。また、火災や大地震の発生に備え、6月22日と9月1日に避難訓練を実施しました。

#### (6) 就労支援

今年度の企業就労実績は以下のとおりです。

就職月	対象者	就労先	仕事内容
10月	22才 男性 (平成19年4月入所)	向島郵便局	事務補助

#### (7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり会費の運用や行事での企画等を行っています。利用者主体の会ではありますが、話し合いや金銭管理の場には施設職員が同席し必要に応じて助言しています。

#### 4 授産事業の状況

(1) 総収益 26,767,372円 前年度比 39%増  
 月平均 2,230,614円

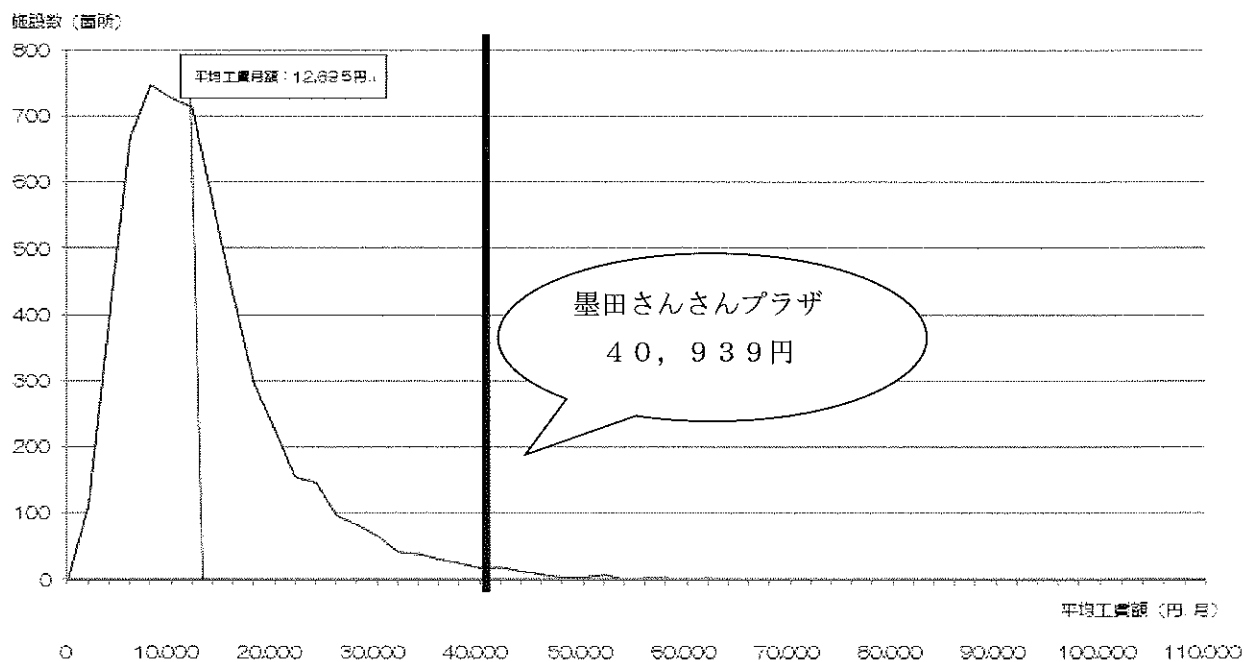
#### (2) 部門別収益内訳

	受注	公園	点字名刺等	パン	クッキー	喫茶
年計	6,611,307	2,185,018	241,412	4,539,907	3,260,562	678,650
月平均	550,942	182,084	20,117	378,325	271,713	56,554
前年度比	+2.8%	-7.7%	-54.9%	+6.5%	+23.4%	-3.8%
	施設清掃	緑化				
年計	8,140,732	1,937,635				
月平均	678,394	161,469				
前年度比	+577.1%	+13.1%				

(3) 工賃支払総額 27,387,012円  
 支払月平均 40,939円 前年度比 11,974円増

◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比  
 (厚生労働省ホームページより)

#### 平成21年度平均工賃分布図(平均工賃別施設数)



工賃増進5か年計画対象施設(就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模過所授産施設)



## 5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			栄養士 (兼務)	嘱託医 非常勤	計
		常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時			
21年度末 22.3.31	1	2	0	1	4	3	8	(1)	1	20
		3			15					
退職	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
		0			2					
採用	0	0	0	1	1	1	8	0	0	11
		1			10					
22年度末 23.3.31	1	2	0	2	4	4	14	(1)	1	28
		4			22					

## 6 職員の研修

実施日	研修内容	参加者数
9月1日他	JC-NETジョブコーチ養成研修	1
3月1日他	サービス管理責任者研修	2
3月22日	墨田さんさん会職員研修会	

## 7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナーの事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。また、「さんさんプラザまつり」は、地元の方々をはじめ多くの来場者で賑いました。「第7回さんさんプラザまつり」の概要は次のとおりです。

日時	10月23日(土) 午前10時30分～午後2時
場所	墨田さんさんプラザ全館・駐車場・平井橋第一公園
主な催し	パン・クッキーの販売、ゲームコーナー、唐辛子の苗無料配布、作業公開、作業体験、バザー、区内施設生産品販売コーナー、クラブの作品展示 模擬店(やきそば・豚汁・フランクフルト)、コーヒーサービス、さんさんるーむ施設公開、福引き
来場者数	443人
従事者	141人(利用者、保護者、理事・評議員、職員)

## 8 福祉サービス第三者評価

### (1) 評価機関

評価機関 株式会社 福祉規格総合研究所

住所 千代田区神田須田町1-12-3 アルカディアビル6階

### (2) 評価の手法と内容

22年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

「利用者調査」は利用者のサービスに対する意向や満足度を把握することを目的とし実施されます。

「組織マネジメント」は、組織の目指している方向性や理念、経営に関することを把握するために実施します。

「サービス分析」は、施設の利用者に対する支援がどの程度なされているかを調べるために実施します。

### (3) 評価結果

#### 全体の講評

総合的な感想では「大変満足」が12名、「満足」30名と8割以上の利用者が満足している。活動の選択の幅を広げ、工賃向上にもつながる取り組みをしている。利用者主体の施設運営の実現に取り組んでいる。職員間で幅広く情報が共有される記録方法の工夫をしている。との評価を得ました。

評価の詳細はインターネットで閲覧できます。

#### I 「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

#### II トップページ福祉サービス第三者評価をクリック

#### III 評価結果を検索する(検索)をクリック

#### IV “事業所名から探す”の欄に「墨田さんさんプラザ」と入力して検索

#### V “事業所名称 墨田さんさんプラザ”を選択すると結果が表示されます

## 9 本年度の重点課題について

### (1) 新規授産事業の取り組み

#### ①障害者生活介護施設・障害児デイサービス施設 清掃事業

区より委託を受け、22年度開設したすみだステップハウスのおおぞらの清掃業務が始まりました。利用者の勤務シフトを作成し、月～土の週6日と定期清掃の第三日曜日に交代で行っています。施設の行事に参加できないため、清掃担当者での懇親会を2回行いました。

#### ②障害者地域緑化推進事業

区より、地域の緑化推進を目的とした事業を受託し、年間を通して植物の栽培および管理を行いました。その結果、平井橋第一公園に2か所の花壇を設け、また、地域住民に対し花苗の無料配布を実施する

とともに、地域交流への役割を果たすことができました。将来的には周辺企業等の協力を仰ぎ、緑化事業の広域化を視野に取り組んでいきます。

### ③自主生産品出張販売

自主生産事業は新たに23年NTT東日本様より移動販売車をご寄付いただき、従来の販売場所に加え、新規の場所を開拓することができました。今後もコスト意識を高め、更なる販路の拡大を視野に入れ取り組んでいきます。

## (2) 利用者支援の充実

### ①実習の機会創出

利用者の就労支援については、運営の大きな柱の一つとして取り組んでいます。平成22年度は利用者1名が企業就労に結びつきました。雇用に至らないまでも企業実習、職場見学、面接会の参加等の社会経験の機会を提供してきました。大手企業の法定雇用率の遵守や障害者自立支援法施行により、企業就労への道は年々高まってきています。就労支援センターや公共職業安定所と連携をとりながら、利用者の特性に応じた企業開拓や就労支援を随時行ってきました。また最近では区からの委託を受けた様々な作業を展開するようになりました。この形態の利点は、施設の支援を受けつつ高工賃を得ることができ、すぐに施設が対応できることにより、利用者・保護者の安心感は図り知れません。今後さらにこの形態は拡大していくものと考えられます。

### ②安全管理の徹底

利用者の休み時間の安全管理に対応するため、当番職員を配置し、不測の事態に備えた結果大きな事故は起こりませんでした。23年3月11日に発生した東北大地震時は訓練どおりに行動し、事故やけが人はありませんでした。

### ③本人会活動の支援

毎月行われる定例会を中心に活動し、本人たちでは難しい判断のときにアドバイスをおくり、活動をサポートしてきました。

# 平成22年度 すみださんさんるーむ 事業報告

今年度も、緊急性を考慮しつつ利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みをおこなってまいりました。

最近の傾向として、学齢児の日中利用の増加は続き、特に学校の休校時に多くの利用傾向がみられるようになってきました。

こうした状況を踏まえ、できる限りの利用実績を上げることへの努力を図ってまいりました。この一つの方法として、定員に近い利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を図っていく努力も併せて行ってきました。

いずれにしても、必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を求められていると考えているところです。

## 1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	9	13泊	26日
5	9	14泊	28日
6	6	10泊	20日
7	6	12泊	24日
8	10	13泊	26日
9	10	15泊	30日
10	9	14泊	28日
11	9	13泊	26日
12	10	20泊	39日
1	7	12泊	24日
2	4	9泊	18日
3	7	10泊	20日
計	96	155泊	309日
月平均	8.0	12.9泊	25.8日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	14	33
5	14	31
6	14	33
7	14	41
8	16	62
9	15	31
10	16	34
11	17	31
12	14	36
1	13	36
2	15	37
3	17	47
計	179	452
月平均	14.9	37.7

## 2 職員体制 (平成23年3月31日現在)

管理者 (兼務)	支援スタッフ		計
	常勤	非常勤	
1	1	1	3

# 平成22年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

## 1. 利用者の状況

### (1) 利用者数・年齢分布

	21年度末(2010/3/31)			入所		退所		22年度末(2011/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~29	1	3	4					1	3	4
30~39	2	3	5					2	3	5
40~49	1	3	4					1	3	4
50~59	1	3	4					1	3	4
60~	0	3	3	1				1	3	4
計	5	15	20	1	0	0	0	6	15	21
平均年齢	39.6	45	42.9	1		0		56.6	46	48.7

### (2) 利用者数・利用日数

	21年度末(2010/3/31)			入所		退所		22年度末(2011/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	2	8	10					2	8	10
4日	1	1	2					1	1	2
3日	0	1	1					0	1	1
2日	0	2	2					0	2	2
1日	2	3	5	1				3	3	6
計	5	15	20	1	0	0	0	6	15	21

### (3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
1	3	2	5	5	4	5	5	4	6	5	5	50	4.167

### (4) 障害者区分

愛の手帳	男性	女性	計
2度		2	2
3度	1	7	8
4度	5	6	11
計	6	15	21

	家庭		生活寮		計
	区内	区外	区内	区外	
男性	5		1		6
女性	13		1	1	15
計	18	0	2	1	21

## 2. 開所日数

239日

### 3. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	21	18	22	21	19	20	20	20	19	18	19	22	239	19.92
登録者数	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	251	20.92
出席者数	278	237	301	274	234	263	263	260	252	227	240	282	3111	259.3
1日平均	13.2	13.2	13.7	13.0	12.3	13.2	13.2	13.0	13.3	12.6	12.6	12.8	156.1	13.01
新規契約		1											1	
退 所													0	

#### 平成21年度

計	稼働日数	登録者数	出席者数	1日平均	平均	稼働日数	登録者数	出席者数	1日平均
	237	249	2972	150.9		19.75	20.75	247.7	12.58

### 4. 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう又、ともに生きがいが高められるよう、支援をしてまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等これまで経験した事のないような新しい企画により実施いたしました。又、四季折々の日本の文化に親しみ、利用者が楽しみやすい行事も実施しました。自主生産のパウンドケーキも区役所・移動販売車等、販売場所を増やし好評を得ています。

本年度は新規利用者が1名のみの入所だったが、利用数が前年比5%増となり、これは大きな成果であったと思われまます。

#### (1) 行事報告

平成22年度は次の行事を実施した。

	行 事					
4月	お花見	調理実習	調理実習	保護者連絡会	調理実習	誕生日食事会「ボボラマーマ」
5月	端午の節句	調理実習	食事会(リヨン)	調理実習	調理実習	
6月	調理実習	所外レクリエーション(東武ワールドスクウェア)	調理実習	招待ボウリング、食事会	避難訓練・調理実習	
7月	調理実習	七夕行事(プラネタリウム見学)	調理実習	誕生日食事会(卵の木庵)	調理実習	宿泊訓練(セミナーハウス)
8月	調理実習	調理実習	夏季休暇	調理実習	誕生日食事会(しゃぶ田)	
9月	調理実習	スカイワゴン販売体験	調理実習	調理実習	健康診断	スカイワゴン販売体験
	中秋の名月調理 誕生日食事会					
10月	宿泊旅行(スパハワイアンズ)	調理実習	スポーツレクリエーション大会	スカイワゴン販売体験	誕生日食事会(坂むら)	
11月	調理実習	調理実習	スカイワゴン販売体験	調理実習	誕生日食事会(しゃぶ田)	
12月	調理実習	所外レクリエーション(楽天地映画鑑賞)	調理実習	誕生日食事会(鳩家)	新日本フィルふれあいコンサート	大掃除、おたのみ会
1月	新年顔合わせ会(奥舟文化センター)	調理実習	食事会(リヨン)	調理実習	調理実習	
2月	調理実習	調理実習	福祉大会リハーサル	福祉大会	調理実習	誕生日食事会(卵の木庵)
3月	調理実習	ひな祭り茶話会	調理実習	調理実習	カラオケ大会	誕生日食事会(竹園)

#### 参加行事

スポーツレクリエーション大会、福祉大会

(2) クラブ活動

月2回カラオケ会を開催しました。

(3) 調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施しました。

(4) 健康管理

月に1回、体重測定、年に1回、健康診断を実施しました。

(5) 安全管理

年に1回、避難訓練を実施しました。

(6) 新聞発行

月に1回、デイサービス通信を発行しました。

5. 重点課題に対する取り組み

(1) 社会交流

墨田区共同販売事業『スカイワゴン』にてパウンドケーキ販売を開始し、また、隔週火曜日には、工房前での販売が定着し、好評を得るようになりました。その結果として地域社会や多くの人々との交流を図ることができました。誕生日会等では、できる限り社会との交流ができるよう車を利用して、行動範囲の拡大を図りました。

(2) 行事

お花見・端午の節句・七夕・お月見・クリスマス・新年会・ひなまつりの四季を感じる行事を行いました。

(3) 安全対策作り

避難訓練は1回実施しました。実際に地震があり、利用者にとっても安全に対する意識は高まったと思われまます。

(4) 健康管理

行事等を活用し、なるべく歩く機会を作り、日常活動の中でも運動を取り入れるよう心がけました。

# 平成22年度 ほーむ大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、丸2年無事に過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に6名の方々を迎え、お互い、生活習慣や対人関係にも慣れ、安定した毎日が過ごせたとおもいます。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、独立を目指し8月に1名、3月に2名の方が退居され、9月に1名入居されました。少し寂しくなりましたが、来年度5月に2名の方々が入居予定で、新メンバーも加わり又、6名となる予定です。

今後も、安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

## 1 入居者の状況 (22/4～8)

### ① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代		1	1
30代	2	1	3
40代	1		1
60代		1	1
計	3	3	6

## (22/9～23/3)

### 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	3	1	4
40代	1		1
60代		1	1
計	4	2	6

## (23/3/31)

### 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	2		2
40代	1		1
60代		1	1
計	3	1	4

### ② 障害区分

区分	男	女	計
1	1	3	4
2	1		1
3	1		1
計	3	3	6

### 障害区分

区分	男	女	計
1	1	2	3
2	2		2
3	1		1
計	4	2	6

### 障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	2		2
3	1		1
計	3	1	4

### ③ 日中活動

	男	女
一般企業	1	2
福祉作業所	2	1

### 日中活動

	男	女
一般企業	1	1
福祉作業所	2	1
就労支援A型事業所	1	

### 日中活動

	男	女
一般企業	1	
福祉作業所	2	1

## 2 職員体制

	管理者(兼務)	常勤	非常勤
	1		
世話人		1	
生活支援員			5



### 3 支援状況

#### ① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員と一む職員の合意のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

#### ② 行事

誕生日会	4月・9月・1月・2月	東武ボール ロイヤルホスト
クリスマス会	12月	大洋食堂

#### ③ 健康管理

朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

#### ④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

#### ⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

#### ⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。今後幅を広げていきたいと思っています。

## 平成22年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、1年を無事過ごす事ができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に14名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

入居者の皆さんも生活習慣や対人関係にも慣れ、だおぶ落ち着いてきたようにおもいます。今後は、職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

### 1 入居者の状況

#### ① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	3	1	4
30代	2		2
40代	2	2	4
50代	3		3
60代	1		1
計	11	3	14

#### ② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	4	1	5
3	1	1	2
4			
5	1		1
6	1	1	2
計	11	3	14

#### ③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	3		3
福祉作業所	5	1	6
デイサービス	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

### 2 職員体制

Aユニット	管理者(兼務)	常勤(サービス管理責任者)兼務	非常勤
世話人	1		4
生活支援員			5
Bユニット			
世話人		1	1
生活支援員			1

### 3 支援状況

#### ① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画はひとり一人のニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員、ほむの職員の合儀意のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

#### ② 行 事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	アンブレラ食堂

#### ③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮のさい、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持努めてまいりました。

#### ④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、12月に避難訓練を実施しました。

#### ⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

#### ⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。今後、入居者の皆さんと話あいながら余暇活動の充実を図っていきます。

## 平成22年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

### 1. 利用者の状況

#### (1) 利用者数・年齢分布

男性 10名 女性 7名 合計 17名

#### 年齢分布

年代	21年度末(22.3.31)			入所		退所		22年度末(23.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~19歳	0	0	0					0	0	0
20~29歳	2	1	3					2	0	2
30~39歳	5	2	7					5	3	8
40~49歳	1	1	2					1	1	2
50~59歳	1	0	1		1			1	1	2
60歳~	1	2	3					1	2	3
計	10	6	16	0	1	0	0	10	7	17
平均年齢	37.1	45	40					38	46.6	41.5

#### (2) 障害内容(23.3.31現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1度	0	0	0
2度	2	0	2
3度	2	2	4
4度	6	5	11
計	10	7	17

### 2. 開所日数

239日

### 3. 支援状況

障害者地域活動支援センターⅢ型の事業所として、生産・創作・余暇活動の機会の提供や、地域交流の促進などの地域生活支援を提供しました。企業を退職後、当事業所に入所した利用者が多くを占めているため、それぞれの主体性や意思の尊重には特に配慮してきました。また、地域緑化推進事業を通し、公園が所在する町会のご理解を得て、町会との結びつきを構築する等、利用者自身が作業することにより地域への啓発をも促進することができました。

#### (1) 行事

平成22年度は次の行事を行いました。

5月29日	障害者スポーツ大会	東京都スポーツ協会主催の東京都障害者スポーツ大会に参加	利用者15名・職員4名
6月18日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者16名・職員5名
6月25日	バスハイク	リニアモーターカー見学等	利用者16名・職員6名
10月17日	スポレク	区主催の障害者（児）スポーツレクリエーション大会へ参加	利用者17名・職員6名
10月28日 ～29日	宿泊旅行	熱川ハイツ宿泊 よこはま動物園ズーラシア シャボテン公園	利用者17名・職員7名
12月28日	忘年会	亀沢七福食堂にて食事会、カラオケなど	利用者17名・職員6名
1月 5日	新年顔合わせ会	墨田さんさん会主催 曳舟文化センター	利用者16名・職員4名
2月21日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 演目：歌「ありがとう」	利用者17名・職員6名

#### (2) クラブ活動

毎月第3水曜日の午後に行いました。

#### (3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態と自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する。
定期健康診断	9月22日	医療機関において胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

#### (4) 安全管理

作業中及び通所と途中の事故防止について、普段から作業所の生活のなかで注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化をはかりました。また、今年度より火災や大地震の発生に備え、5月7日に避難訓練を実施しました。

#### (5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携さ、就労に向けた取り組みを行ってきました。

#### (6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

### 4. 工賃推移

平成22年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
¥322,082 (¥20,130)	¥285,077 (¥17,817)	¥309,932 (¥19,371)	¥350,265 (¥21,892)	¥292,574 (¥18,286)	¥317,095 (¥18,653)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
¥344,715 (¥20,277)	¥358,085 (¥21,064)	¥604,903 (¥35,583)	¥262,496 (¥15,441)	¥474,883 (¥27,934)	¥478,881 (¥28,169)

( ) 内は平均工賃

22年度工賃支払総額 4,400,988円

22年度平均工賃 22,116円

## 5. 重点課題への取り組み

### (1) 緑化事業の推進

亀沢第一児童遊園花壇における植物の栽培や維持管理について、年間を通して努めました。その中で亀沢二丁目町会のご理解を得られ、お気遣いを頂戴するなど、利用者本人たちが花壇の手入れ等の作業することで地域に対する啓発へとつながりました。

また、利用者の従事においては適性や感性等を見極め、その育成に努めました。

### (2) 自主生産への取り組み

作業幅の拡大や工賃向上のための自主生産活動として、フランスパンを素材に用いたラスクを数回にわたり製造し、試食と改良を繰り返し実施しました。その結果としては、試行的に職員や保護者会へ向け販売し、好評を博しました。

製造には利用者も大いに関わり、その中で適性等を見極めると同時に本格的な稼働へ向け、効率的な作業手順等の模索・確認を再度にわたり行いました。

## 平成22年度 向島七福福祉作業所 事業報告

### 1. 利用者の状況

#### (1) 利用者数・年齢分布

男性 10 名    女性 7 名    合計 17 名

#### 年齢分布

年 代	21年度末(22.3.31)			入所		退所		22年度末(23.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0	1				1	0	1
20～29歳	1	1	2				1	0	0	0
30～39歳	3	2	5			1		3	1	4
40～49歳	2	4	6	1			1	2	3	5
50～59歳	2	1	3	1		1		3	2	5
60歳～	1	1	2					1	1	2
計	9	9	18	3	0	2	2	10	7	17
平均年齢	44.3	45	44.6	3		4		42.9	48.6	45.2

#### (2) 障害内容 (23. 3. 31現在)

知的障害 愛の手帳	男性	女性	計
1 度	0	0	0
2 度	0	1	1
3 度	4	2	6
4 度	6	4	10
計	10	7	17

(内、身障手帳2級が1名)

### 2. 開所日数

239日

### 3. 支援状況

法人2年目として、施設内での日常生活を通して、必要な知識や能力を向上させていく事が出来るよう、利用者本位の支援体制の充実、福祉サービスの質の向上を目指しました。またさんさん会の職員研修を受けることにより、職員が共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供が出来るよう努めました。



(1) 行事

平成22年度は次の行事を実施しました。

6月24日	ボウリング大会	アイビーボウルの招待ボウリング	アイビーボウル
7月 2日	バスハイク	サントリー工場見学、緑の美術館見学	群馬県渋川方面
10月17日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	区体育館
11月11日 ～12日	一泊旅行	ひたち路・いこいの村湊沼宿泊、ポティロン森(アイスクリーム作り体験、柿狩り)、筑波山登山	茨城県湊沼方面
2月20日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 「てっぱんだンス」を踊りました	曳舟文化センター
3月30日	所外活動	国立西洋美術館見学	上野方面

(2) クラブ活動

平成22年度は次のクラブを実施しました。

4月6日	ウォーキング	浅草散策	浅草・吾妻橋方面
5月27日	ビデオ鑑賞	作業所にてビデオ鑑賞	向島七福作業所
8月26日	ビデオ鑑賞	「カールじいさんの空飛ぶ家」のビデオ鑑賞	向島七福作業所
10月15日	リレーの練習	スポーツ・レクリエーションの練習	中の郷児童遊園
11月25日	ビデオ鑑賞	宿泊旅行のビデオ鑑賞	向島七福作業所

(3) 健康管理の取り組み

施設としての利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	内 容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する。
定期健康診断	2月3日	医療機関において胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました。

(4) 安全管理

作業中及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年2回の避難訓練を実施しました。

実施日 1回目 平成22年5月31日  
2回目 平成23年3月23日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センター等と連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

女性 (28歳) 22年4月1日より区内企業(プラザスタイル)にてトライアル雇用  
22年7月1日より就職

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では感じることのできない温かみや家庭的雰囲気の食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4. 工賃推移

平成22年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
¥453,549 (¥25,197)	¥315,118 (¥17,507)	¥430,137 (¥23,897)	¥400,695 (¥22,261)	¥245,849 (¥12,939)	¥396,451 (¥23,321)	¥437,032 (¥25,708)

11月	12月	1月	2月	3月
¥374,662 (¥22,039)	¥409,771 (¥22,765)	¥304,759 (¥16,931)	¥305,734 (¥17,984)	¥250,971 (¥14,763)

( )内は一人平均

22年度工賃支払総額 4,324,728円

22年度一人平均 20,443円

5. 22年度の重点課題の取り組み

(ア) 地域緑化推進事業

今年度から東向島北公園の花壇に、四季折々の植物を植え、栽培及び管理(水やり、害虫駆除等)作業を行いました。作業所から遠い場所であったため、数人の利用者と職員が車で移動しなければならない作業環境となりました。利用者の適性や意欲を配慮しながら、新しい作業の導入を図り、地域交流や安定した収益を得ることが出来ました。

(イ) 自主生産活動

工賃の向上と近年の作業所の方向性を考慮し、自主生産導入の検討を行ってきたが作業所の環境面や設備等から実施に至りませんでした。今後についても十分検討していきたいと考えています。